

NHK文化センター
2021-2023年度経営計画

2021年3月10日

株式会社NHK文化センター

1. 「コロナ禍」からの業績回復

2020年から「コロナ禍」が世界中に拡がり、2021年1月に再び緊急事態宣言が発出されるなど、今後の感染状況や収束時期の見通しは立っていません。NHK文化センターではこの影響で、教室での講座開催に大きな打撃を受けました。

今後も厳しい景気・経済動向が続き、コロナ禍での消費者行動の変容は楽観できないなど、業績見通しは予断を許さない状況が続いています。

2021-2023年度経営計画では、まずスリムで強靱な組織要員体制構築という「ダウンサイズ」構造改革で固定費を大幅に削減して利益率を回復・向上させ、NHKやグループ会社との連携を強化して業績回復を目指します。

その一方で、これまで進めてきた講座のオンライン化や企業向けBtoB事業をより一層推進し、新たな成長基盤づくりと業態転換を図ります。コロナ禍の次の時代を見据えた、「学びのプラットフォーム」構築に取り組みます。

2. 重点施策

①スリムで強靱な組織への「ダウンサイズ」構造改革

- 1) 聖域なき「選択と集中」と固定費削減
- 2) コンパクトな経営体制の確立

3年間で
約▲10億円
削減

②新たな成長基盤づくりとNHK文化センターのDX化

- 1) 教室講座の高付加価値化推進
- 2) 講座のオンライン化による「新たな学びのプラットフォーム」構築
- 3) 広告宣伝・集客のWEB化で顧客の多世代化・多層化を推進
- 4) 企業・法人提携事業開発、グループ会社との連携強化で新事業創造

営業利益率向上

③安全・安心に学び、柔軟な働き方ができる環境整備

- 1) 感染症予防徹底、安全・安心に学べる環境を維持・整備
- 2) 感染拡大や災害発生時の円滑な事業継続能力(BCP)向上
- 3) 個人情報保護、サイバー攻撃対策の推進
- 4) 柔軟な働き方推進、社員のキャリア開発支援に資する制度整備

コンプライアンス
を確実に推進

「ダウンサイズ」構造改革を推進して業績回復
「教室講座とオンライン講座のハイブリッド化」で新しい講座事業へ変革

3. 施策の概要

新たな成長基盤づくり

- 付加価値の高いプレミアム講座を拡充しお客様の満足度をより一層高める
- 講座のオンライン化をさらに推進。教室所在地や教室での開催時間帯に制約されない自由な受講スタイルで学べる環境を提供
- NHK公共放送に対する理解促進に貢献する講座事業を着実に推進
- NHKグループ各社と連携して新たな事業を創造

安全・安心に学べる環境づくり

- 感染症予防対策を不断に強化・徹底
- 安全で安心して学べる教室環境整備を継続的に推進
- 業務のテレワーク化や講座のオンライン化に必要なシステム環境整備
- 個人情報保護等に必要なセキュリティ対策をより一層向上

NHKおよびNHKグループ会社と緊密に連携して推進

4. 2021-2023年度収支計画

2023年度 営業収支を黒字化

(単位：百万円)

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	4,503	3,939	3,799
営業費用	4,645	3,976	3,649
営業利益	▲ 142	▲ 37	150

売上高などは現時点での想定であり、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大など、今後の社会・経済状況の変化などによっては見通しの変動する可能性があります。